

令和5年度第7回芽室町総合計画審議会・第5回専門部会 議事録

令和5年11月29日(水) 18:30~19:00

めむろーど2階セミナーホール

《参加者》

審議会出席委員(9名)

貫田会長、明瀬副会長、廣江副会長、岩野委員、江口委員、黒田委員、小林(善)委員、
棚瀬委員、花岡委員

審議会欠席委員(6名)

岡田委員、小池委員、小林(覺)委員、白銀委員、鈴木委員、林委員

専門部会出席委員(12名)

西村副部長、飯島委員、梅津委員、遠藤委員、木原委員、櫻田委員、佐藤(渉)委員、
須崎委員、田村委員、廣瀬委員、堀越委員、山田委員

専門部会欠席委員(10名)

嶋野部長、蘆田委員、阿部委員、大塚委員、桜井委員、佐藤(英)委員、珠玖委員、
高橋(圭)委員、高橋(広)委員、平谷委員

事務局

石田政策推進課長、村上政策調整係長、佐藤主事、天野主事

《内容》

1 開会

石田政策推進課長

定刻となりましたので、令和5年度第7回総合計画審議会・第5回総合計画審議会専門部会を開催する。審議会、専門部会の合同開会にあたり、会長よりご挨拶をお願いします。

2 会長挨拶

貫田会長

インフルエンザの流行などにより欠席者が多い中での開催となるが、皆さまにはお集まりいただき感謝を申し上げます。本日は今年度の審議会・専門部会における報告として合同で開催させていただく。よろしく申し上げます。

3 議事(1)報告事項

貫田会長

それでは議案3(1)報告事項①審議会における施策評価結果について、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料の説明に入る前に訂正があるため説明させていただく。資料1の1ページ、「1-2-2地域資源を活用した観光の振興」について、審議会評価がCランクとあるが、正しくはDランクである。資料1の13ページも訂正となることから、後日正しいものを送付させていただく。大変申し訳ございません。

それでは資料1の説明に入る。各施策の評価結果は1ページ一覧表のとおりとなるが、訂正のある施策のほか、2施策において専門部会と審議会の評価が異なる結果となったことから説明させていただく。

まずは「2-1-1学校教育の充実」について、専門部会評価はDランク、審議会評価はCランクであった。専門部会評価の理由は、成果指標③（「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合）が2022年度実績77.0%であり、前期実施計画策定時である2017年度実績85.7%と比較して「前進した」とは言えないとした。審議会の評価理由は、コロナ交付金を活用したエアコン設置によって災害級の暑さの中でも、子どもたちの教育環境が整備されていたことなどから、前期実施計画策定時と比較して「前進した」とした。それぞれ異なる観点での評価であり、どちらが重要だということではないが、総合的に判断してCランクとした。

続いて、「3-4-1互いに認め合う福祉社会の実現」について、専門部会評価はDランク、審議会評価はCランクであった。専門部会評価の理由は、人権擁護等について普及啓発は進めているが、成果指標が横ばいであることから「変わらないまたは維持した」とした。審議会評価の理由は、成果指標の設定はないものの人権擁護の取組は学校で20回以上実施していることやその活動が帯広法務局などからも非常に評価され、他自治体でも見習われている状況を踏まえ、「前進した」とした。

説明は以上である。

貫田会長

ただ今の説明について質問等はあるか。

委員

(質問なし)

貫田会長

それでは続いて、議案3(1)報告事項②施策の外部評価意見への対応一覧について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、資料2及び資料3について説明する。

専門部会及び審議会でもいただいた各施策の「今後の取組に対する意見」に対する担当課からの回答を一覧としている。記載内容は、①各施策に対する意見、②対応方針、③内容となっている。なお、対応方針で「対応する」とした内容については、実行計画、予算審査へと繋げ、次年度以降に実現できるように進めていく。

説明は以上である。

貫田会長

ただ今の説明に質問等はあるか。

委員

資料2の6ページ No.21 の対応内容についてであるが、「高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを民間委託するとともに、潜在化・複雑化する課題を早期に支援・発見に努め～」とあるが、高齢者支援課とどのように連携しているのか伺いたい。複数名から包括支援センターの対応についてネガティブな意見を聞いている。

石田政策推進課長

詳細の案件については担当の高齢者支援課が把握している。ただ、私の知る限りでは、地域包括支援センター(委託先)と担当課が定期的に意見交換していると聞いているが、今いただいたご意見も担当課に伝えて、今まで以上に連携をとることとしたい。

委員

1ページ No.1 の対応内容について、「町として国・道の支援策を補完する支援の実施について、適時適切に判断します。」とあるが、対応方針は「検討する」となっている。スピード感を持って様々な支援策について検討しているのであれば「対応する」としても良いのではないか。

石田政策推進課長

「対応する」なのか「検討する」なのかという判断は難しいところだと思っている。資料高騰のことについては担当課において検討し、予算化に向けて進めている。ただ、予算化に向けて進めている段階であることから「検討する」と担当課が判断したのだと想定する。正式に予算化した際には「対応する」になると思うが、現時点での現状を踏まえた回答であることをご理解いただきたい。

委員

10ページのNo.40について、対応内容で「要配慮者リスト」についての記載がある。役場では地域担当職員が配置されているが、要配慮者リストや緊急時に配慮しなければならない障がい者等についてどこまで把握しているのか伺いたい。

石田政策推進課長

町では町内会・行政区に地域担当職員を配置している。地域担当職員は要配慮者リストの把握はしていない。災害時は様々な業務が発生し、役場に残らなければならない職員など役割が決まっていることから、地域担当職員が担当町内会に足を運ぶことを想定しているわけではない。各町内会において災害時の初期対応をお願いしたい。また、協議が整った町内会においては要配慮者リストを活用していただきたい。

委員

他の町内会では要配慮者リストの受け取っていないところもある。町としてその対応は良いとしているのか。

石田政策推進課長

協議が整った町内会に要配慮者リストをお渡ししている。町としては町内会で対応をお願いしたいが、町内会によっては個人情報の管理が重荷となる場合もあり、町から強制的にお願いすることはできない状況である。

委員

対応方針が「対応不可」となっているものについて、今後どのように活かされていくのか伺いたい。

石田政策推進課長

担当課には基本的に「対応する」という方向で検討いただくように伝えているところではあるが、町の役割とは異なるもの、例えば「温浴施設が必要」という意見について、町が温浴施設を作るわけにもいかないことから対応不可としている。ただ、対応不可としたから何もしないというわけではなく、民間事業者の参入など話にあがれば、町としてはこの意見を活かして後押ししていくなど対応していくイメージである。

会長

ただ今の説明に質問等はあるか。

委員

(意見・質問なし)

貫田会長

事務局から追加の報告事項について説明をお願いします。

事務局

議案に記載はないが、本日配付した追加資料「令和5年度総合計画審議会専門部会グループワーク事後アンケート結果」について報告させていただく。昨年度から引き続き今年度も専門部会においてグループワークを実施したが、現在、試験的に実施しているものである。選択式の設問を抜粋して報告する。

資料1ページ「問1-1 グループワークの人数について」であるが、グループワークは1グループ5人で実施し、アンケート回答者全員から適当であったという結果となった。

続いて「問1-2 グループワークの時間」については、1日で1施策30分を3施策、それを2日程行った。施策によっては議論が活発になり、短く感じることもあったが、6割以上は適当であるとの結果となった。ただし、令和4年度と比較して、短かったまたは少し短かったという回答が3割ほどあったことから、今後進め方を検討していく。続いて資料2ページ「問2 グループワークと挙手方式の専門部会それぞれの発言のしやすさについて」であるが、1～5点の中で回答し、数値が大きい方が発言しやすいという設問である。結果は委員全体の平均値から、挙手方式よりもグループワークの方が0.71ポイント上回り、話しやすいという結果となった。

続いて資料5ページ「問5 来年度の専門部会でもグループワークを取り入れた方がいいと思うか」について、取り入れた方がいいまたは挙手方式と併用した方がいいが約9割という結果となった。

資料の説明は以上となるが、自由記述等については後ほどご覧いただきたい。この事後アンケート結果を踏まえて今後の進め方の参考にさせていただく。説明は以上である。

貫田会長

ただ今の説明に質問等はあるか。

委員

(意見・質問なし)

貫田会長

以上で議案3(1)報告事項を終了する。続いて、議案4その他について事務局から説明をお願いします。

事務局

今後のスケジュールについてであるが、7月の第1回審議会・専門部会の事務局説明において、今年度中に「第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定を予定していると説明していたが、令和7年度からの改定に向けて、令和6年度に皆さまにご意見いただくこととして進めさせていただく。このことから、今年度の審議会・専門部会は本日が最後の開催となる。1年間ありがとうございました。

また、本日の委員報酬は12月8日(金)に送金予定である。ここで皆さまに提案であるが、これまでは審議会・専門部会の最後に口頭説明に加え、報酬支払日前にハガキでお知らせしていたが、今後ハガキの送付については省略させていただくことを検討している。省略してよろしいか。

委員

(異議なし)

事務局

それではハガキの送付は行わないこととする。次年度については議案等通知文に記載することとする。

事務局からは以上である。

貫田会長

全体を通して質問等はあるか。

委員

(意見・質問なし)

貫田会長

以上をもって令和5年度第7回芽室町総合計画審議会・第5回専門部会を閉会する。お疲れ様でした。

19:00 閉会